

「回復期リハビリテーション病棟入院の整形外科疾患患者における退院時の日常生活動作レベルの予後予測」へのご協力をお願い

千里中央病院では、下記の内容にて後ろ向き観察研究を実施いたします。通常の診療で得られた情報(電子カルテなど)から必要な情報を取り出して、まとめることで行われます。本研究の対象者に該当する患者さんまたはご家族様で、本研究に関するお問い合わせがございましたら、お問い合わせ先までご連絡を頂きますようお願いいたします。

《研究課題名》

回復期リハビリテーション病棟入院の整形外科疾患患者における退院時の日常生活動作レベルの予後予測

《研究機関の名称と研究代表者、分担者名》

研究代表者名：

井上陽介、千里中央病院リハビリテーション科 理学療法士

共同担当者名：

中川友紀、千里中央病院客員研究員、大阪人間科学大学保健医療学部作業療法学科 助教

佐伯麻奈 千里中央病院医事課、診療情報管理士

米田和喜、千里中央病院リハビリテーション科 作業療法士

《研究期間》

千里中央病院の倫理審査委員会承認後～2025年3月

《本研究の目的と意義》

本研究の目的は、過去に入院された患者の入院時と退院時のデータの関係性を分析することで、入院時にどのような状態の患者が退院時にどの程度まで日常生活動作ができるようになっているかを明らかにすることです。

本研究の意義は、理学療法士や作業療法士などにおいて業務経験からではなく、過去のデータに基づいた退院時の日常生活動作レベルの予後予測をすることができるので、新人をはじめとした若手の理学療法士や作業療法士の予後予測に役立つことが考えられます。入院時から退院時の予後予測をすることができることで、理学療法介入や作業療法介入の治療プログラム立案の一助となります。また入院時から退院時調整のことを視野にいたった関わりをすることができます。

《本研究に使用する情報》

基本情報：年齢、性別、身長、体重、Body Mass Index、発症日、入院日、退院日、入院日数、疾患名、術式、骨折部位、疾患別分類、骨折部位(左右)、荷重制限の有無、合併症、チャールソン併存疾患指数(合併症についての指数)、要介護度

血液データ：血液検査のデータ、栄養評価 Geriatric Nutritional Risk Index (GNRI) (アルブミン値と体重から算出が可能)

自立度尺度：日常生活自立度、認知症である老人の日常生活自立度

身体機能と認知機能：疼痛の有無、深部感覚の有無、表在感覚の有無、膝伸展筋力の有無、歩行形態、6分間歩行、10m歩行、Timed Up & Go Test (TUG)、Berg Balance Scale (BBS)、Functional Reach Test (FRT)、基本動作の自立度、Mini Mental State Examination (MMSE)

日常生活自立度：Functional Independence Measure (FIM)

等、入院時と退院時の患者さんの状態に関する情報

《本研究の実施方法》

電子カルテに記録されている情報を収集して、まとめて行います。入院時の状態と退院時の状態の関係を統計的に解析して、入院時と退院時の状態にどのような関係性があるのかを調べたり、退院時の予後予測モデルを作成したりします。患者さんに新たにご負担を頂くことはございません。

《対象となる患者さん》

医療法人協和会千里中央病院の回復期リハビリテーション病棟に整形外科疾患(大腿骨近位部骨折など)で入院された方で、2021年4月1日～2023年3月31日に退院された方。ただし、診療情報が正しく得られない患者さんなどは対象から外れることがあります。

《研究対象者に生じる利益や不利益》

患者さんは既に退院されているため、対象者個人に対する直接的な利益は想定されません。再入院されたときに、入院時の状態からデータに基づいた予後予測をされるといった利益をうける可能性は考えられます。また、既存の診療情報の利用のみであるため、新たに発生する不利益やご負担は想定されません。個人情報漏洩の可能性があることに関しては、データを解析するときは氏名をID番号に置き換え個人が特定されないように情報を取り扱い、個人情報漏洩しないように厳重に注意致します。

《研究実施について同意しないことおよび同意を撤回することについて》

ご自身の診療情報が本研究に利用されることに同意を頂けない場合は、研究に使用する情報からあなたに関わる情報を削除致します。そのため、下部に記載のお問い合わせ先にご連絡頂けますようお願いいたします。情報の削除を依頼したことにより、不利益な扱いを受けることはございません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、研究結果が学会や論文等ですでに公開されている場合などご対応できないことがあります。

《本研究に関する情報公開の方法》

この掲示により本研究に関する情報公開といたします。研究結果の公開については、法人内の報告会や学会発表、論文投稿などにて行う予定になります。

《研究計画書などの閲覧について》

他の研究対象者等の個人情報等の保護および本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究対象の方は研究計画に関する資料を閲覧することができます。閲覧を希望される場合には、下部に記載されているお問い合わせ先にご連絡をお願いいたします。

《個人情報等の取扱い(匿名化する場合にはその方法を含む)》

個人を特定できないように氏名を ID 番号に置き換えた状態でデータの解析を行います。氏名と ID 番号との対応する表は、解析するデータとは別にして保存いたします。また、研究成果は法人内の報告会や学会、論文などで発表されますが、その際にも患者さんを特定できるような情報は含みません。

《試料・情報の保管および廃棄の方法》

抽出したデータや対応表、匿名化したデータについては、研究期間終了後 5 年もしくは学会や論文などでの発表から 5 年の間保管致します。保管期間経過後、紙媒体はシュレッダーで、USB などの電子媒体は物理的に破棄します。

《研究の利益相反など》

本研究に関する利益相反はありません。

《研究対象者及びその関係者からの相談等へのご対応》

ご不明な点などがございましたら、お問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

〒560-0082

大阪府豊中市新千里東町 1-4-3

医療法人協和会千里中央病院

リハビリテーション科 理学療法士 井上陽介

電話番号：06-6834-1100(代表)